

平成27年9月

松尾理沙 学位論文審査要旨

主 査 中 島 健 二
副主査 吉 岡 伸 一
同 前 垣 義 弘

主論文

A comparative evaluation of parent training for parents of adolescents with developmental disorders

(思春期の発達障害児を持つ親のためのペアレントトレーニングの比較評価)

(著者：松尾理沙、井上雅彦、前垣義弘)

平成27年 Yonago Acta medica 掲載予定

参考論文

1. 発達障害児の親を対象としたPTの実態と実施者の抱える課題に関する調査

(著者：松尾理沙、野村和代、井上雅彦)

平成24年 小児の精神と神経 52巻 53頁～59頁

2. 大学生に対するイラストを用いた認知再構成法の心理教育の効果

(著者：松尾理沙、大塚美菜子、片平志保、竹田伸也)

平成26年 臨床精神医学 43巻 1055頁～1061頁

審 査 結 果 の 要 旨

本研究は思春期の発達障害児を持つ親に特化したペアレント・トレーニングプログラムを開発し、介入群と対照群に分けてプログラムの有効性の検討を行ったものである。その結果、親と子どもの葛藤において有意に対照群より介入群が介入前から介入後において改善がみられた。また介入群のみに行ったアンケートにおいてもプログラムの満足度は概ね高い満足度を示していた。本論文の内容は、発達障害児やその家族の関係性を改善させるだけでなく、発達障害児の二次障害や養育者の抑うつを予防を防ぐことに期待ができるものであり、明らかに学術水準を高めたものと認める。